

2月26日(土)

座長：佐々木明彦

9:30 - 9:45 ○鈴木啓助(山岳基礎科学部門)・池田 敦(特別研究員：現・筑波大)・柏原秀雄(信州大)
中部山岳地域における気象観測網の展開

9:45 - 10:00 ○佐藤奈津美(信州大・院)・鈴木啓助(山岳基礎科学部門)
乗鞍岳東斜面における気温遞減率の変動とその要因

10:00 - 10:15 ○高橋耕一(山岳基礎科学部門)・村山義典(信州大・学)
高山植物の種多様性と空間分布は地形要因から説明できるか？

10:15 - 10:30 ○平林公男(山岳基礎科学部門)・山本 優(環境科学株式会社)
春期、上高地におけるユスリカ相について(予報)

10:30 - 10:50 加藤慎也(信州大・学)・関根一希(信州大・院)・倉西良一(千葉中央博物館)・
○東城幸治(山岳基礎科学部門)
ざざむし(ヒゲナガカワトビケラ)類の分子系統地理学的研究
—山岳溪流における隠蔽的新種の発見—

10:50 - 11:10 長野祐介(信州大・学)・楠目晴花(信州大・学)・平尾 章(特別研究員：現・筑波大)・
○市野隆雄(山岳基礎科学部門)
山岳植物の遺伝的多様性と分化

11:10 - 11:25 ○江田慧子(信州大・院)・中村寛志(地域環境共生学部門)
絶滅危惧種ミヤマシジミの発育に及ぼす温度の影響について

11:25 - 11:40 ○山根 仁(信州大・院)・江田慧子(信州大・院)・中村寛志(地域環境共生学部門)
上高地から蝶ヶ岳一帯のチョウ類群集構造について

11:40 - 12:30 昼食

座長：成瀬真理生

12:30 - 12:45 ○山口大輔(信州大・学)・宮崎政幸(総合地質コンサルタント)・小林 元(地域環境共生学部門)
ヒノキシートの伸長フェノロジーと光合成の季節変化

12:45 - 13:00 ○伊東大介(信州大・学)・細川奈々枝(信州大・院)・小林 元(地域環境共生学部門)・
平井敬三(森林総研)
ヒノキ若齢林の斜面上部と下部における土壌窒素無機化速度の季節変化

13:00 - 13:15 ○川谷尚平(信州大・学)・森田元気(信州大・学)・小林 元(地域環境共生学部門)・
清野達之(筑波大)
光環境の異なる林床におけるサワラの天然更新

13:15 - 13:30 ○安江 恒(地域環境共生学部門)・涌井幸子(信州大・院)・竹原優子(信州大・院)・
野堀嘉裕(山形大)・鎌田直人(東京大)
異なる生育地におけるブナの肥大成長の気候応

13:30 - 13:45 ○和田鉄平(信州大・院)・安江 恒(地域環境共生学部門)
異なる標高に生育するカラマツの肥大成長フェノロジー

13:45 - 14:00 加藤正人(地域環境共生学部門)
森林を適切に管理・維持するための広域診断システム

- 14:00 - 14:15 ○成瀬真理生(信州大・院)・加藤正人(地域環境共生学部門)
上高地植生の画像解析
- 14:15 - 14:30 ○伊藤克之(信州大・学)・加藤正人(地域環境共生学部門)
北アルプス槍沢における航空写真画像をもちいた高山植生の把握
- 14:30 - 14:45 ○高主知佳(信州大・学)・加藤正人(地域環境共生学部門)
上高地焼岳の地形変化箇所における植生回復と起伏の関係
- 14:45 - 15:00 休憩
- 座長：永田貴丸
- 15:00 - 15:20 ○宮川 健(信州大・院)・丸岡禎之(熟年体育大学リサーチセンター)・
下平博和(熟年体育大学リサーチセンター)・山崎敏明(キッセイコムテック株式会社)・
能勢 博(高地医学・スポーツ科学部門)
中高齢者登山時の3軸加速度累積値と筋力・筋損傷マーカー
- 15:20 - 15:40 村山研一(山岳文化歴史部門)
梓川上流の発電用水利権と上高地の開発
- 15:40 - 16:00 壁 崇志(信州大・学)
近世後期上高地における木材生産
- 16:00 - 16:20 ○梅干野成央(山岳環境創生学部門)・土本俊和(山岳環境創生学部門)・
堀田真理子(信州大・学)・田村 啓(信州大・院)
日本アルプスの山小屋建築に関する調査報告
ー北アルプス 槍ヶ岳 殺生ヒュッテ・ヒュッテ西岳ー
- 16:20 - 16:30 ○玉川幹夫(信州大・院)・土本俊和(山岳環境創生学部門)・梅干野成央(山岳環境創生学部門)
大学の山岳部等が所有・管理する山小屋に関する基礎的収集
- 16:30 - 16:45 ○永田貴丸(特別研究員)・花里孝幸(山地水域環境保全学部門)
ワカサギ仔魚の成長と生存に及ぼす水温上昇の影響
- 16:45 - 17:00 宮原裕一(山地水域環境保全学部門)
上高地および諏訪の大気汚染について
- 17:00 - 17:20 柳町晴美(山地水域環境保全学部門)
野尻湖水質保全に関する住民と観光客の意識差
- 17:20 - 17:40 ○公文富士夫(山岳基礎科学部門)・栗山学人(信州大・学)・木越智彦(信州大・学)
琵琶湖堆積物中の有機炭素・窒素量変動に基づく過去5万年間の気候・環境変動
- 17:40 - 17:55 佐々木明彦(特別研究員)
南アルプス南部、大聖寺平に分布する雪窪の形成過程
- 17:55 - 18:10 島津 弘(山岳基礎科学部門・立正大学)
フィジー・ヴィチレヴ島の山地河川の地形と土砂移動

2月27日(日)

座長：河合小百合

- 9:00 - 9:20 ○中谷貴壽(山岳基礎科学部門)・宇佐美真一(山岳基礎科学部門)・伊藤建夫(信州大)
高山蝶クモマベニヒカゲの系統地理的考察
- 9:20 - 9:35 ○高村秀紀(山岳環境創生学部門)・浅野良晴(山岳環境創生学部門)
木造住宅建設時のCO₂排出量削減を目指した対策と評価
- 9:35 - 9:50 ○高村秀紀(山岳環境創生学部門)・浅野良晴(山岳環境創生学部門)
炭素循環から俯瞰する長野県産木材のライフサイクルアセスメント調査
その1 カラマツの場合
- 9:50 - 10:05 ○浅野良晴(山岳環境創生学部門)・高村秀紀(山岳環境創生学部門)
炭素循環から俯瞰する長野県産木材のライフサイクルアセスメント調査
その2 アカマツの場合
- 10:05 - 10:30 ○松岡達郎(ジオックスコンサルタント株式会社)・林 久夫(ジオックスコンサルタント株式
会社)・水落幸広(住鉱資源開発株式会社)・小野雅弘(住鉱資源開発株式会社)・
棚瀬充史(株式会社地圏総合コンサルタント)・原山 智(山岳基礎科学部門)
新たな地下構造調査法としての微動アレー探査 ―基本原理とその展開―
- 10:30 - 10:45 ○原山 智(山岳基礎科学部門)・松岡達郎(ジオックスコンサルタント株式会社)・
林 久夫(ジオックスコンサルタント株式会社)・水落幸広(住鉱資源開発株式会社)・
棚瀬充史(株式会社地圏総合コンサルタント)
微動アレー探査による埋積された古梓川の縦断面解析
- 10:45 - 11:05 ○原山 智(山岳基礎科学部門)・河合小百合(特別研究員)・山田睦美(信州大・学)
12000年前から5000年間存在した巨大せき止め湖―古上高地湖の生成から消滅まで―
- 11:05 - 11:25 ○河合小百合(特別研究員)・原山 智(山岳基礎科学部門)・清水美里(信州大・学)
上高地地域における晩氷期以降の環境変遷
- 11:25 - 11:45 ○馬場千香子(信州大・学)・原山 智(山岳基礎科学部門)
コマクサの生息環境を支配する地形・地質的要因
- 11:45 - 12:05 ○常木大樹(信州大・学)・原山 智(山岳基礎科学部門)
境峠断層の北方延長―中ノ湯から坂巻温泉間の破碎帯について―
- ポスター発表
- 耿 昌明(信州大)・柚木 真(東京大・院)・兼井聖太(信州大・院)・
上原三知(地域環境共生学部門)・佐々木邦博(地域環境共生学部門)
上高地に対する中国人観光客の評価の基礎的研究
- 石田 桂(山岳基礎科学部門)・岩井 喬(信州大・学)
上高地地域の淡水性貝形虫
- 鈴木啓助(山岳基礎科学部門)・池田 敦(特別研究員：現・筑波大)・兼子祐人(信州大・学)・
鈴木大地(信州大・学)・榎 拓登(信州大・学)
山岳地域の積雪試料による冬季降水量算定の試み
- 池田 敦(特別研究員：現・筑波大)・柏原秀雄(信州大)・鈴木啓助(山岳基礎科学部門)
山岳気象データ整備について